

別紙様式 1

産地生産拡大プロジェクト支援事業に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施 主体名	対象作物 ・畜産物名	事業実施 初年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況							具体的な取組内容	事 業 内 容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	地方農政局長等の意見
						基準年	1年目	2年目	3年目 (目標年)	1～3年目 の平均	目標値	達成率			
						平成19年	平成20年	平成21年	平成22年						
北海道	下川町	下川町産地 強化協議会	野菜	20年度	下川町の農業産 出額の増加	千円 1,823,575	千円 1,982,619	千円 2,037,015	千円 1,943,098	千円 1,987,577	千円 2,240,668	39.3%	・新規作物の栽培実証試験 ・市場等の調査 ・販売促進活動の実施	・低コスト耐候性ハウス 20棟 ・集出荷貯蔵施設 1棟 (集出荷施設、予冷施設、選別施設) ・グリーンアスバラ選別機 1台 ・共同育苗施設 3棟	成果目標の達成率が39.3%と目標値を大きく下回っている。 これは気象の影響による生産量の減少が主な要因と考えられる。 また、施設の活用状況も良好とはいえない。 このため、次年度についても、要因分析を行うとともに、改善に向けて継続した取組が必要である。
北海道	美唄市	美唄市産地 強化協議会	水稻 小麦 野菜	20年度	美唄市の農業産 出額の増加	千円 4,804,290	千円 5,563,248	千円 4,086,646	千円 4,100,048	千円 4,583,314	千円 5,296,951	△44.8%	・技術講習会の開催 ・実証ほ場による各種試験	・集出荷貯蔵施設 (選別出荷ライン 1式、予冷库 1基) ・生産技術高度化施設 (小麦品質分析計 1台)	成果目標の達成率が△44.8%と目標値を大きく下回っている。 これは気象の影響による生産量の減少が主な要因と考えられるが、次年度についても、要因分析を行うとともに、改善に向けて継続した取組が必要である。

(注) 実施要領Ⅰの第7の1により、全国的な農産物価格の低下や災害等により成果目標の達成状況が低迷した場合は、その旨を地方農政局長等の意見の欄に記述すること。

併せて、実施要領Ⅰの第7の1の(1)及び(2)の代替案で事業評価を実施した場合は、一段下の欄に評価結果を記入すること。